



農作業メモ

ねぎの害虫防除

ねぎの定植作業が始まります。害虫の発生が多くなる時期を迎えますので的確な防除により、品質向上に努めましょう。

ネギアザミウマ

気温の上昇とともに発生が増え、食害痕（カスリ状）が見え始めます。定植したばかりのねぎでは、加害が激しい場合、生育が停滞します。

多発してからの防除は困難となるので、早期発見・早期防除に努めます。定植時や土寄せ時の粒剤と散布剤を組み合わせ、系統の異なる薬剤をロー



葉の被害の様子

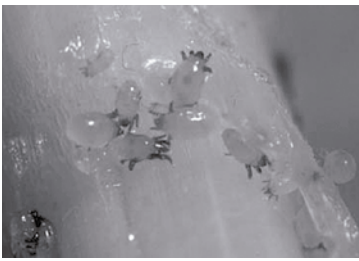


ネギアザミウマの成虫

テーションする防除体系を組みましよう。

ネダニ

0.7mm程度の乳白色の小さな卵型のダニで、春から夏にかけて発生が多くなります。苗床や定植後のねぎに寄生し、苗の枯死や生育不良を起こします。寄生の多い株では地上部の生育が悪く、根がほとんどないため簡単に引き抜けます。主な発生源は、前作のねぎ残さ等の残存虫と苗での持ち込みです。連作ほ場では発生が多い傾向がありますので、作付けほ場の選択に注意してください。



ネダニ

注意しましょう 間違いやすい農薬 の適用作物

農薬には適用作物が定められています。特に、間違いやすい事例を紹介します。

例①

「フロッコリー」と「茎フロッコリー」

「フロッコリー」に適用のある農薬であっても「茎フロッコリー」に適用がない場合、「茎フロッコリー」に当該農薬を使用することはできません。「茎フロッコリー」に使用できるものは、「野菜類」または「茎フロッコリー」とラベルに記載された農薬だけです。

例②

「未成熟とうもろこし」と

「ヤングコーン（ベビーコーン）」

「未成熟とうもろこし」に使用できる農薬は、「雑穀類」、「とうもろこし」、「未成熟とうもろこし」のいずれ

かがラベルに記載された農薬だけです。「ヤングコーン」に使用できるものは「野菜類」または「ヤングコーン」とラベルに記載された農薬だけです。

農薬を使用する際には、必ず使用農薬のラベルを確認しましょう！
散布時は周辺への飛散に注意しましょう！

トンネル資材の かたづけのお願い

2月の大雪による農作物への被害は甚大でした。今後の産地振興に向けて、一步一步、歩みを前に進めましょう。

トンネル資材の折れた破片が散乱しているほ場もあります。出荷時の農産物に混入しないように、破損した資材の除去にご協力ください。

(大里農林振興センター農業支援部)